町と地域のパイプ役
みなさんの地域の行政区長が決定

各行政区の新しい担当区長が決定しました。行政区長は、町と地域の太いパイプ役として重要な役割を担っていただいています。

委嘱状交付式が4月5日(木)町役場で行われ、遠藤町長から各行政区長へ委嘱状が交付されました。また、退職された5名の区長へ感謝状が贈呈されました。

式では遠藤町長が「区長の皆さんの役割は、震災以前とは比べものにならないくらい大変になり、改めて、役割の重大さを実感したところです。また、今年は町制施行50年、第5次総合計画の初年度であるため、復興元年として、より良いまちづくりへの協力をお願いいたします」と挨拶しました。

また、町社会福祉協議会正木正秋会長から社会福祉協議会協力推進員などの委嘱状も合わせて交付されました。

なお、区長協議会の役員が次のとおり選出されました。

(敬称略)

会　長　面川平六(笠石区)
副会長　高橋孝平(旭町区)
会　計　柳沼信夫(鏡田区)
監　事　面川秀夫(鏡石2区)
　　有我　忠(鏡石3区)

▲遠藤町長から委嘱状を交付される区長さん

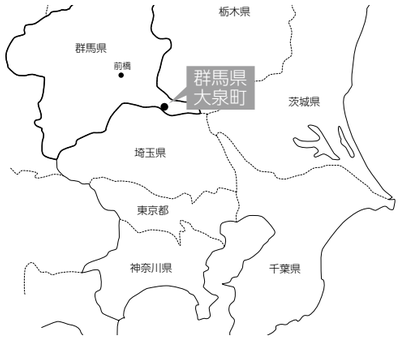
任期は
24年4月1日から
25年3月31日まで

群馬県大泉町より
職員派遣

鏡石町は交通の便がとてもよく、生活するのにとても環境がよい町だと思いました。
今後は、町のことをよく知って1年間鏡石町の力になれるよう頑張っていきたいです。

税務町民課
内田 慎太郎 主査

▲大泉カルナバルでのダンスコンテスト模様



町では、町全体の災害復旧を進める人員が不足しているため、総務省へ人的支援制度の活用を求め、人員の支援を要請していましたが、今回、群馬県大泉町(斉藤直身町長)より4月1日から1年間にわたって支援していただけることになりました。

派遣される職員は内田慎太郎主査で、税務町民課で税の収納を担当することとなり、大泉町で税の収納を担当していたとの事で鏡石町でも十分に力を発揮していただけるものと期待します。

また、大泉町はどんな町かと聞いてみると、「大泉町は、群馬県で面積が一番小さな町ですが、北関東でも屈指の製造品出荷額を誇り、公園や街路などの都市施設整備が進んだ、美しい都市景観を持つ町で、人口の約15%が外国人の多文化共生の町でもあり、大泉カルナバルというダンスコンテストや食のイベントを行っています」と話して下さいました。

春の全国交通安全運動

4月6日(金)から15日(日)までの10日間、全国一斉に「春の全国交通安全運動」が実施され、町交通安全協会や母の会、行政区の皆さんの協力のもと、様々な活動が展開されました。

昨年は、町内においても交通死亡事故が発生する等、いまだ交通事故の被害に遭われている方が絶えません。

交通安全で大切なことは、相手を思いやる気持ち、ゆずり合いの気持ちです。相手の立場に立って行動し、交通事故を防ぎましょう。

また、県内で昨年シートベルト非着用で亡くなった方9名のうち7名は、着用していれば救命効果があったと思われます。シートベルトは皆さんを守る命綱です。全席シートベルトを着用し大切な命を守りましょう。

これから、日が伸びるにつれ夕方外出する機会が増えますが、夜光反射材を着用するなど、ドライバーから見て分かりやすい服装を心がけましょう。

平成23年度鏡石町シートベルト調査結果表

●調査場所　やすこくや前交差点

運動名		運転席着用率	助手席着用率	後部座席着用率
春の全国交通安全運動	運動前	96.5%	100%	80%
	運動後	99.3%	96.9%	45.5%
夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動	運動前	97.6%	87%	61.8%
	運動後	98.7%	95.9%	80%
秋の全国交通安全運動	運動前	99.1%	95.2%	39.3%
	運動後	99.2%	88.2%	78.6%
年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動	運動前	98.9%	98.1%	66.7%
	運動後	97.7%	85.7%	84.6%

▲後部座席もシートベルト！

役場窓口日曜日開設　税務町民課では、毎週日曜日午前8時30分から正午まで、窓口業務(証明書発行)を開設しています

総合相談室開設　火曜から金曜の午前9時から午後4時まで総合相談室を開設しています